

令和4年度当初予算の概要

資料 2

電気事業

1 業務量

区 分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
発 電 所 数	23所	23所	-	100.0%
最大出力合計	103,755kW	103,555kW	200kW	100.2%
年間販売電力量	293,345千kWh	334,900千kWh	△ 41,555千kWh	87.6%
料金収入(税込み)	3,461,088千円	3,663,235千円	△ 202,147千円	94.5%
(うちFIT)	(839,796千円)	(504,729千円)	(335,067千円)	(166.4%)

2 収益的収支

(税込み、損益は税抜き)

区 分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,539,447千円	4,306,789千円	232,658千円	105.4%
支 出	3,615,859千円	3,381,496千円	234,363千円	106.9%
差 額 (損 益)	923,588千円 (149,776千円)	925,293千円 (432,606千円)	△ 1,705千円 (△ 282,830千円)	99.8% (34.6%)

※主な増減(収入)：美和、春近、与田切発電所の大規模改修等に伴う運転停止等による料金収入の減 △697,361千円
 西天竜発電所、裾花発電所の通年稼働による料金収入の増 475,732千円
 発電所改修費等に係る仮払消費税の増加による消費税及び地方消費税還付金 305,407千円
 (支出)：菅平小水力発電施設の受託工事費用の増 99,000千円
 発電所の運転管理業務委託料の増 91,081千円

3 資本的収支

(税込み)

区 分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	6,701,000千円	3,705,918千円	2,995,082千円	180.8%
企 業 債 (うち末端給水) (うち用水供給)	6,701,000千円 (1,600,000千円) (215,000千円)	3,686,000千円 (1,268,000千円) (234,200千円)	3,015,000千円 (332,000千円) (△ 19,200千円)	181.8% (126.2%) (91.8%)
支 出	9,749,046千円	6,878,490千円	2,870,556千円	141.7%
建設改良費	8,989,915千円	5,880,053千円	3,109,862千円	152.9%
企業債償還金	688,131千円	547,437千円	140,694千円	125.7%
一般会計への繰出金	20,000千円	400,000千円	△ 380,000千円	5.0%
差 額	△ 3,048,046千円	△ 3,172,572千円	124,526千円	96.1%
補てん財源				
損益勘定留保資金等	2,054,231千円	2,279,885千円	△ 225,654千円	90.1%
積立金	220,003千円	400,000千円	△ 179,997千円	55.0%
資本的収支調整額	773,812千円	492,687千円	281,125千円	157.1%
債務設定額(既設定含む。)	41,439,410千円	37,872,966千円	3,566,444千円	109.4%

※主な増減(収入)：建設改良事業の増加に伴う企業債借入額の増 3,015,000千円
 (支出)：基幹発電所大規模改修や新しい水力発電所の建設による工事費等の増 3,109,862千円
 企業債償還金の増 140,694千円

水道事業(末端給水事業及び用水供給事業)

企業局

1 業務量

区 分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
未 端 給 水 戸 数	79,470戸	79,024戸	446戸	100.6%
年 間 総 給 水 量	19,279千m ³	19,120千m ³	159千m ³	100.8%
料 金 収 入 (税 込 み)	3,666,679千円	3,627,089千円	39,590千円	101.1%
用 水 年 間 総 給 水 量	29,555千m ³	29,565千m ³	△ 10千m ³	100.0%
料 金 収 入 (税 込 み)	1,443,460千円	1,443,954千円	△ 494千円	100.0%

2 収益的収支

(税込み、損益は税抜き)

区 分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	5,747,549千円	5,679,002千円	68,547千円	101.2%
支 出	5,355,809千円	5,292,713千円	63,096千円	101.2%
差 額 (損 益)	391,740千円 (135,329千円)	386,289千円 (160,727千円)	5,451千円 (△ 25,398千円)	101.4% (84.2%)

※主な増減(収入)：(末端)給水戸数の増加に伴う水道料金収入の増 39,590千円
 (末端)広域化検討業務に伴う関係事業者からの負担金収入の増 23,191千円
 (支出)：(末端)広域化詳細検討業務や浄水場運転管理業務等に係る委託料の増 44,175千円
 (用水)管路の耐震化工事による減価償却費の増 23,282千円

3 資本的収支

(税込み)

区 分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	2,002,122千円	1,733,415千円	268,707千円	115.5%
企 業 債 (うち末端給水) (うち用水供給)	1,815,000千円 (1,600,000千円) (215,000千円)	1,502,200千円 (1,268,000千円) (234,200千円)	312,800千円 (332,000千円) (△ 19,200千円)	120.8% (126.2%) (91.8%)
支 出	4,865,594千円	4,456,738千円	408,856千円	109.2%
建設改良費	3,159,256千円	2,811,737千円	347,519千円	112.4%
(うち末端給水) (うち用水供給)	(2,477,383千円) (681,873千円)	(2,026,718千円) (785,019千円)	(450,665千円) (△ 103,146千円)	(122.2%) (86.9%)
企業債償還金	1,655,338千円	1,594,001千円	61,337千円	103.8%
(うち末端給水) (うち用水供給)	(1,489,658千円) (165,680千円)	(1,454,862千円) (139,139千円)	(34,796千円) (26,541千円)	(102.4%) (119.1%)
差 額	△ 2,863,472千円	△ 2,723,323千円	△ 140,149千円	105.1%
補てん財源				
損益勘定留保資金等	2,611,880千円	2,502,580千円	109,300千円	104.4%
資本的収支調整額	251,592千円	220,743千円	30,849千円	114.0%
債務設定額(既設定含む。)	1,346,000千円	1,302,000千円	44,000千円	103.4%

※主な増減(収入)：(末端)建設改良事業の増加に伴う企業債借入額の増 312,800千円
 (支出)：(末端)諏訪形浄水場の中央監視制御装置の更新等による工事費の増 450,665千円
 (用水)本山浄水場の薬品注入設備等の更新完了による工事費等の減 △103,146千円

企業局 事業体系（令和4年度）

基本目標

『水の恵みを未来へつなぐ』

基本方針

「経営の安定と未来への投資」

電気事業

脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により、「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力の安定供給のため、未来に向けて積極的に投資

しあわせ信州創造プラン2.0
（基本方針）

産業の生産性が高い県づくり
人をひきつける快適な県づくり

水道事業

（末端給水・用水供給）

将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域化・広域連携の強化

しあわせ信州創造プラン2.0
（基本方針）

いのちを守り育む県づくり
自治の力みなぎる県づくり

主な取組

未来への投資

- ・水力発電所の建設等の推進
- 新規電源開発（発電所建設）の推進
- 基幹発電所等の大規模改修の推進

先端技術の大胆な活用

- ・監視カメラや水位計の設置等による監視強化、降雨・流入予測システムの導入
- ・水素ステーション実証事業

リスクマネジメント

- ・地域連携水力発電マイクログリッド構築に向けた検討
- ・監視カメラや水位計の設置等による監視強化、降雨・流入予測システムの導入（再掲）

地域への貢献、地域との連携

- ①「水力発電推進研究会（仮称）」の設置
- ・地域連携水力発電マイクログリッド構築に向けた検討（再掲）
- ・水の恵みを未来へつなぐ交付金事業
- ・電気事業利益を活用した地域貢献（一般会計への繰出し）
- ・地域内経済循環等に資する売電のあり方等の検討

先端技術の大胆な活用（共通事業）

- ・次世代監視制御ネットワークシステムの構築
- 発電施設統合管理システムの構築
- 浄水場中央監視制御装置の更新とネットワーク化の推進

未来への投資

- ・施設等の老朽化対策及び耐震化の推進
- ・施設の浸水対策の推進
- ・ポンプ施設のダウンサイジングの検討

先端技術の大胆な活用

- ① 水道料金のキャッシュレス決済の導入
- ① 管路マッピングシステムのモバイル化

リスクマネジメント

- ・施設等の老朽化対策及び耐震化の推進（再掲）
- ・施設の浸水対策の推進（再掲）
- ・管路マッピングシステムのモバイル化（再掲）
- ・応急給水拠点としての「安心の蛇口」の整備

地域への貢献、地域との連携

- ① 関係市町村との広域化・広域連携の推進
- ・県内市町村等水道事業者への支援

柔軟で俊敏な組織づくり

- ① 発電建設事務所の設置
- ・持続可能な経営のための戦略的な広報の実施
- ・しごと改革・働き方改革の推進

経営の安定